

AttackTree

リリースノート 3.0.1

2018/2

株式会社ウェーブフロント

AttackTree 新機能

- ・レポートデータベースは SQL Server Compact に代わって SQL Server Local database に基づくようになりました。
- ・これには以下のようなメリットがあります。
 - 1) データベースの容量が最大 4GB から最大 10GB に増加
 - 2) 複雑な問い合わせに対する処理を高速化(場合によっては桁違いの高速化)
 - 3) SQL Server Transact-SQL syntax へのサポート
- ・Excel のスプレッドシートを読み込んだときの音を消去できるようになりました。適切なオプションはアプリケーションオプションダイアログのインポートタブから設定できます。(Tools→Options→Application Options の import より設定)

Report Designer 新機能

- ・ユーザコードのプログラムのパフォーマンスが改良されました。
- ・テキストコラムのレポートの更新にかかる時間は 2~3 分の 1 程度に短縮されました。
- ・レポートの PDF や Word 形式への出力にかかる時間も大幅に短縮しました。
- ・選択したテーブルおよびビューの上位 1000 行を SQL クエリウィザードに表示できる機能が追加されました。これは、潜在的な結合列を識別するのを助けることによって SQL クエリの構築を支援するためです。
- ・ユーザがレポートデザイナーの SQL クエリウィザード内で構文チェックと書式設定を行える機能を追加しました。
- ・テキストコラムのページ化の時間が大幅に短縮されました。

Licensing 新機能

- ・FlexNet Publisher のライセンスコンポーネントがバージョン 11.14.0.1 からバージョン 11.14.1.0 にアップグレードされました。本リリースでは、Windows Server 2016 のサポートが導入されました。
- ・画面スペースをより有効活用するために、ファイルのリターンと修復タブ、そしてショートコードのリターンと修復タブが再編成されました。
- ・ユーザがファイルメソッドによって生成されたリクエストファイルを再生成できるライセンスアクティベーションダイアログを追加しました。

以前はリクエストファイルを生成した後、選択されたフルフィルメントが無効になり、レス

ポンスファイルが処理されるまでそれ以上のアクションは実行できなくなっていました。
元のリクエストファイルが失われても、再生成ボタンからファイルを再生成することが可能になりました。

インストールに関する注意点

- ・ FlexNet publishing service 11.14.0.1 から 11.14.1.0 にアップグレードできるように、インストールが大幅にアップグレードされます。
- ・ スタンドアロンライセンスではなく、フローティングライセンスにライセンスサーバーを使用する場合、AttackTree 3.0.1 には Isograph License Server 11.14.1.0 が必要です。Isograph ライセンスサーバー11.14.1.0 は、FlexNet Imadmin ライセンスサーバーを自動的にインストールします。Isograph ライセンスサーバー11.14.1.0 については、弊社にお問い合わせください。Imadmin の代わりに LMTools を使用する場合は、必要な 11.14.1.0 LMTools コンポーネントをカスタマーエリアからダウンロードできます。